

Prochainement

Fondation Maison franco-japonaise ● 公益財団法人 日仏会館 | イベント案内 プロシエヌマン

2.3 | février/mars
2024

ピクトグラム Pictogrammes



逐次通訳付き
Avec traduction consécutive



同時通訳付き
Avec traduction simultanée



日本語
En japonais



フランス語
En français



英語
In English

2.6 [火] 18:00-
mardi 20:00



恵比寿映像祭2024 共催シンポジウム

MOONAGEとテクノロジー・アート

シンポジウム ホール
Colloque Auditorium

講師：クリストフ・シャルル(武蔵野美術大学)
畠中実(NTTインターコミュニケーション・センター[ICC])
司会：藤原邦一((株)藤原プロデュース代表)
藤村里美(東京都写真美術館)

人々が気軽に月へ行くことも技術的に不可能ではなくなりつつあります。しかし、最先端の科学技術や理論以上に、一見それとは結びつかないようなアーティストたちの思考や実践が、新しい発見や創造につながり、月へ向かうための大きなヒントになるかもしれません。恵比寿映像祭2024では、「月へ行く30の方法」というテーマに基づき、写真や映像を主とした様々な表現から、参加する観客とともに考えていく試みを行います。美術や映像表現とともに、表現の手段として親

しまれてきた音楽とテクノロジー・アートの関係について識者を招き、その歴史と関係性を語っていただきます。

主催 / (公財)日仏会館、恵比寿映像祭[東京都・(公財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・日本経済新聞社]

共催 / サッポロ不動産開発(株)

定員 / 130名 参加費 / 無料 お申込み / 不要
当日17時よりフォワイエにて整理券を配布いたします。



クリストフ・シャルル



畠中実

Colloque co-organisé avec the Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2024

MOONAGE et l'art technologique

Conférenciers : Christophe CHARLES (univ. des arts de Musashino), Minoru HATANAKA (NTT InterCommunication Center [ICC])

Moderateurs : Kunikazu FUJIWARA (producer), Satomi FUJIMURA (Tokyo Photographic Art Museum)

2.9 [金] 作品視聴 00:00 - 23:59
vendredi 講 演 20:00 - 20:30



恵比寿映像祭2024 地域連携プログラム

ここだけのフランス映画VIII アルノー・デプレシャン監督『いつわり』

映像と講演 オンライン
Conférence et image En ligne

講師：杉原賢彦(映画批評、目白大学)
司会：渡辺真美((公財)日仏会館)

作家と妻、愛人、そして創作をめぐる小さな物語——。アルノー・デプレシャン監督とアメリカの現代作家フィリップ・ロスという意外な組み合わせによる本作の魅力、それは「挑戦」という言葉によって言い表すことができるかもしれません。デプレシャンにとって、失敗するかもしれない危険を孕んだ企画であったにもかかわらず、映画化せずにはいらなかったというこの作品。映画作家にとっての挑戦とはなんなのでしょう？ その背景と理由を探してみます。

*本イベントは作品上映と講演で構成されています。作品の視聴方法等詳細については、(公財)日仏会館ウェブサイトまたはPeatixをご確認ください。

主催 / (公財)日仏会館、TMF日仏メディア交流協会
協力 / セテラ・インターナショナル

定員 / 100名

参加費 / 一般1,000円、主催団体会員・学生 無料



お申込み / 左記2次元コード、
もしくは下記URLまで
<https://fmfj-20240209.peatix.com/>



©Why Not Productions

En partenariat avec the Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2024

Le cinéma français méconnu VIII : « Tromperie » d'Arnaud DESPLECHIN

Conférencier : Katsuhiko SUGIHARA (critique de cinéma, univ. Meiji)

Moderatrice : Mami WATANABE (FMFJ)

2.16 [金] 18:00 -
vendredi 20:00



ファンン——植民地支配下における人種、ジェンダー、人間的実存

協力講演会 ホール
Conférence Auditorium

講師:セルア・リュスト=ブルピナ(パリ・シテ大学)
討論者:鶴飼哲(一橋大学名誉教授)
司会:澤田直(立教大学、(公財)日仏会館)

フランツ・ファンン(1925-1961)は、アルジェリアで精神科医として活動する一方で、独立戦争に積極的に身を投じた人物です。彼は、『黒い皮膚・白い仮面』(1952)、『地に呪われた者』(1961)、『アフリカ革命に向けて』(1964)などを通じて植民地の精神的、文化的側面にも鋭い分析を遺し、ポストコロニアル理論の先駆者として広く知られています。アルジェリア独立後60年余を経て、人口動態、環境的正義、地政学的要因からグローバルサウスが脚光を浴びるいま、父方のルーツをアルジェリアにもつブルピナ氏がファンンの業績を問い直します。

主催/日仏会館・フランス国立日本研究所、セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
協力/(公財)日仏会館、科研費 基盤研究(B)20H04419
定員/130名 参加費/無料



お申込み/左記2次元コード、もしくは下記URLまで
URL: https://www.mfj.gr.jp/agenda/2024/02/16/2024-02-16_seloua_luste_boulbi/index_ja.php
お問合せ/セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
メール: seminaire.luste.boulbina@gmail.com



Fanon : Race, genre et existence humaine sous domination coloniale

Conférencière : Seloua LUSTE BOULBINA (univ. Paris Cité)
Discutant : Satoshi UKAI (prof. émérite de l'univ. Hitotsubashi)
Modérateur : Nao SAWADA (univ. Rikkyo, FMFJ)

2.18 [日] 15:00 -
dimanche 18:00



フランスにおけるポストコロニアル研究 ジェンダーと植民地

共催セミナー 501室
Séminaire Salle 501

講師:セルア・リュスト=ブルピナ(パリ・シテ大学)
討論者:大嶋えり子(慶應義塾大学)
司会:増田一夫(東京大学名誉教授)

L'Afrique et ses fantômes. Écrire l'après (2015)、*Les miroirs vagabonds ou la décolonisation des savoirs* (2018)などで多角的に植民地主義を考察するセルア・リュスト=ブルピナ氏が、フランスにおけるポストコロニアル研究を、とりわけジェンダーと植民地の関係に焦点を当てながら考察します。植民地は、「人種」的ヒエラルキーのみならず、独特のジェンダー観によって形成され、支配、抑圧、搾取を正当化してきました。他方で、ジェンダー平等を語る社会にも、「人種」やジェンダーによって人々の身体を規定し、複雑な抑

圧形態(インターセクショナリティ)が作用しています。その状況を分析し、身体の脱植民地化の可能性を探ります。

主催/セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
共催/(公財)日仏会館
協力/日仏会館・フランス国立日本研究所、科研費基盤研究(B)20H04419
定員/30名
参加費/無料
お申込み/不要
お問合せ/セルア・リュスト=ブルピナ氏招聘グループ
メール: seminaire.luste.boulbina@gmail.com



Les études postcoloniales en France – Genre et colonie

Conférencière : Seloua LUSTE BOULBINA (univ. Paris Cité)
Discutante : Eriko OSHIMA (univ. Keio)
Modérateur : Kazuo MASUDA (prof. émérite de l'univ. de Tokyo)

2.19 [月] 18:00 -
lundi 20:00



人権は普遍的か? 日仏の対話

日仏文化講演シリーズ第380回 ホール
Conf. sur la culture franco-japonaise Auditorium

講師:ヴァレンティヌ・ズベール(高等研究実習院)
討論者:山元一(慶應義塾大学)
司会:伊達聖伸(東京大学)

今日私たちが用いている「人権」の概念は、18世紀の西洋の刻印を強く受けながら、普遍的なものであると謳われてきました。しかしその「普遍」からは、西洋世界でも長いあいだ、女性や未成年や低所得者など、多くの人がとが排斥されていました。世界人権宣言の理念は現在多くの国々に受け入れられていますが、西洋キリスト教的な起源を問題視する議論もあります。人権は本当に普遍的な射程を持つ哲学なのでしょうか、それとも特殊な政治的イデオロギーなのでしょうか。フランスの歴史社会学者と日本の憲法学者が議論を深めます。

主催/(公財)日仏会館
協力/科研費基盤研究(A)20H00003
定員/130名
参加費/一般1,000円、日仏会館会員・学生 無料



お申込み/左記2次元コード、
もしくは下記URLまで
URL: <https://mfj-20240219.peatix.com/>



ヴァレンティヌ・ズベール



山元一

Les droits de l'homme sont-ils universels ?

Un dialogue franco-japonais
Conférencière : Valentine ZUBER (EPHE) Discutant : Hajime YAMAMOTO (univ. Keio)
Modérateur : Kiyonobu DATE (univ. de Tokyo)

2.26 [月] 18:00-
lundi 20:00



第39回渋沢・クローデル賞(フランス側)受賞記念講演会 前期倭寇の航海ルートと航海技術

協力講演会 ホール
Conférence Auditorium

講師:ダミアン・ブラダン(ボルドー・モンテーニュ大学)
司会:トマ・ガルサン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

1350年から1450年にかけて、東シナ海では、「倭寇」と呼ばれる海賊が横行し、朝鮮半島や中国の沿岸部を襲撃しました。この歴史的現象は数多くの研究的とされてきましたが、海賊行為と密接な関係にある航海の要素はしばしば度外視されています。本講演では、11世紀から15世紀の東アジアで見られる一般的な航海の慣習から始め、海賊集団に特有の航海技術を説明します。辿った航海ルート、風と海流の利用、使用された船等に言及し、さらにこれらの要素が数十年にわたってどのように変化したか、そして倭寇が東シナ海の特長な条件にどのように適応していったかについて考察します。

主催/日仏会館・フランス国立日本研究所
協賛/(公財)渋沢栄一記念財団、学校法人帝京大学
協力/(公財)日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団
後援/在日フランス大使館、読売新聞社
定員/130名
参加費/無料



お申込み/左記2次元コード、もしくは下記URLまで
URL: https://www.mfj.gr.jp/index_ja.php
お問合せ/日仏会館・フランス国立日本研究所
メール: contact@mfj.gr.jp



Conférence du lauréat du Prix Shibusawa-Claudel (volet français), 39^e édition
Routes maritimes et techniques de navigation des pirates japonais
- seconde moitié du XIV^e – première moitié du XV^e siècle -

3.2 [土] 14:00-
samedi 18:45



国際女性デー記念シンポジウム 性と教育——日仏比較の視点から

協力シンポジウム ホール
Colloque Auditorium

報告者:アンヌ=クレール・カシウス(名古屋外国語大学)、押田千明(日仏女性研究学会)、岩本美砂子(三重大学名誉教授)、アリーヌ・エニンジェ(オルレアン大学)
司会:新行内美和(日仏女性研究学会)、マルコ・ソッティエーレ(慶應義塾大学)、永澤桂(横浜国立大学)、辻山ゆき子(共立女子大学)、中村彩(立教大学)

今年度の日仏女性研究学会主催・国際女性デー記念シンポジウムは、性と教育をテーマに、リプロダクティブライツ、とりわけ性的同意についての理解など、若年層に向けた教育の重要性を意識し、日仏の学校教育における性教育について考察することをめざします。両国の教育現場における実践を紹介すると同時に、性教育と政治の関係についても検討し、

さらにこのテーマを扱った2022年のクララ・エラルフ監督のドキュメンタリー映画「L'école des Hommes」に日本語字幕をつけて上映する時間も設けます。

主催/日仏女性研究学会
共催/日仏会館・フランス国立日本研究所
助成/(公財)森村豊明会
協力/(公財)日仏会館
定員/ホール130名 参加費/無料



お申込み/左記2次元コード、もしくは下記URLまで
https://www.mfj.gr.jp/index_ja.php
お問合せ/日仏女性研究学会
メール: cdjf.info@gmail.com

Colloque à l'occasion de la Journée internationale des droits des femmes
Genre et éducation à la sexualité en France et au Japon
Perspectives croisées



3.7 [木] 14:00- / 8 [金] 10:00-
jeudi 18:00 / vendredi 17:30

日仏シンポジウム ホール
Colloque franco-japonais Auditorium

日仏会館創立百周年記念 日仏シンポジウム 渋沢栄一とフランス

講師:ミシェル・ワッセルマン(立命館大学名誉教授)、鹿島茂(明治大学名誉教授)、島田昌和(文京学院大学)、伊達聖伸(東京大学)、エディ・デュフルモン(ボルドー・モンテーニュ大学)、ベルナルトマン(フランス国立東洋言語文化学院)、ジャネット・ハンター(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス)、バトリック・フリダンソン(フランス国立社会科学高等研究院)、クリスチャン・ボラック(株式会社セリク社長)、三浦信孝(中央大学名誉教授)、三牧聖子(同志社大学)

討論者:井上潤(渋沢史料館)
司会:トマ・ガルサン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)、ベルナルトマン、バトリック・フリダンソン、矢後和彦(早稲田大学)

日仏会館の創設100周年に際して、渋沢栄一の視点から日仏関係を振り返ります。ポール・クローデルとともに日仏会館の創設に尽力した渋沢栄一はフランスと世界をどのようにみていたのでしょうか。このシンポジウムでは「渋沢栄一とフラン

ス]のかかわりを多面的に考えます。幕末のフランス歴訪で渋沢が遭遇したフランスの思想と文化、渋沢の田園都市構想とフランス企業、渋沢栄一の国際主義と女性像、サンシモン主義や儒教とのかかわり、日米関係と日仏関係——これら多彩な観点からは100年前の渋沢栄一が現代に投げかけたメッセージも読み取れるでしょう。

主催/(公財)日仏会館、日仏会館・フランス国立日本研究所
協力/LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン・ジャパン、FIVES Japan
定員/100名
参加費/無料



お申込み/左記2次元コード、もしくは下記URLまで
URL: https://www.mfj.gr.jp/index_ja.php

Colloque franco-japonais à l'occasion du centenaire de la Maison franco-japonaise
Shibusawa Eiichi et la France



洋装の渋沢栄一 渋沢史料館所蔵

3.15 [金] 18:00-
vendredi 20:00



加藤周一記念講演会

草稿から見えてくるもの 「大江健三郎文庫」開設を記念して

日仏文化講演シリーズ第381回

ホール

Conf. sur la culture franco-japonaise Auditorium

講師：安藤宏（東京大学）、村上克尚（東京大学）

司会：中地義和（(公財)日仏会館副理事長、東京大学名誉教授）

フランス文学研究から出発して豊かな文学世界を創造した故大江健三郎氏は生前、自筆原稿を母校に寄託する意向をお持ちでした。それを受け、2023年9月、東京大学大学院人文社会学系研究科・文学部内に、「自筆原稿デジタルアーカイブ」「関連資料コレクション」「書誌情報データベース」からなる「大江健三郎文庫」が開設されました。同文庫設立の準備に深く関わってこられた安藤宏教授にその経緯をお話いただき、気鋭の大江研究家村上克尚准教授には、初期の作品「空の怪物アグイー」を対象に、草稿研究がもたらす新たな読みの可能性を具体的に示していただきます。

主催／(公財)日仏会館

定員／130名

参加費／一般1,000円、日仏会館会員・学生 無料



お申込み／左記2次元コード、もしくは下記URLまで
URL : <https://fmfj-20240315.peatix.com/>



安藤宏

村上克尚

Conférence à la mémoire de Shūichi Katō

Ce que révèlent les manuscrits autographes

À l'occasion de l'ouverture de la « Bibliothèque Kenzaburō Ōe »

賛助会員

ABC文化系フランス政府給費留学生の会
株式会社朝日新聞社
株式会社アトックス
中央大学図書館情報資料課
クラブ・プロスベール・モンタニエ日本支部
大日本印刷株式会社
ドレカミジャパン株式会社
株式会社アントラクト
フランス語婦人会
公益財団法人フランス語教育振興協会
株式会社フランス図書
株式会社アジテレビジョン
ギャガ株式会社
株式会社ギャルリー・ためなか
グローブシップ株式会社
アツシュウセ経営大学院
エルメス ジャパン株式会社
稲畑産業株式会社
伊藤忠商事株式会社
科学部門フランス政府給費留学生の会

鹿島建設株式会社
株式会社隈研吾建築都市設計事務所
キッコーマン株式会社
公益財団法人清春白樺美術館
小林香料株式会社
株式会社コーセー
公益財団法人小西国際交流財団
極東鋼弦コンクリート振興株式会社
ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社
株式会社エム・シー・エル
明治記念館
三菱マテリアル株式会社
三菱商事株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
三井物産株式会社
株式会社三井住友銀行
有限会社森英恵事務所
日仏経済交流会
TMF 日仏メディア交流協会
日本フランス語フランス文学会

日本印刷株式会社
株式会社日本経済新聞社
日本ロレアル株式会社
野村ホールディングス株式会社
桜美林大学
株式会社奥井海生堂
プリオホールディングス株式会社
ルネサンス・フランセーズ日本代表部
株式会社サカタのタネ
サッポロホールディングス株式会社
笹川日仏財団
セイコーグループ株式会社
西南学院大学
公益財団法人渋沢栄一記念財団
株式会社資生堂
株式会社サイマル・インターナショナル
スターツファシリティサービス株式会社
タイムズ24株式会社
大成建設株式会社
株式会社高島屋

立山酒造株式会社
帝京大学メディアライブラリーセンター
TMI 総合法律事務所
株式会社東急文化村
東レ株式会社
トヨタ自動車株式会社
豊田通商株式会社
株式会社読売新聞東京本社
一般社団法人在日フランス商工会議所
(ABC順2024年1月1日現在)



朝日新聞

NIKKEI

entracte

時代とハートを動かす

SEIKO

in 鹿島
KAJIMA CORPORATION

SHISEIDO

kikkoman

STARIS
スターツファシリティサービス株式会社

KOSÉ

読売新聞

FKK



公益財団法人 日仏会館

Fondation Maison franco-japonaise

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-9-25
JR恵比寿駅徒歩10分（ガーデンプレイス方面）
Tel. 03-5424-1141
Fax. 03-5424-1200
Email bjmfj@mfjtokyo.or.jp



3-9-25 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-0013
10 mn à pied de la station JR Ebisu (direction Yebisu Garden Place)



要参加申し込み

Peatix (<https://fmfj.peatix.com/>) から

*共催イベントは各主催宛にお申込み下さい。



<https://www.mfjtokyo.or.jp>
詳細・最新情報はウェブサイトをご覧ください。